

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 大崎町立大崎小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	5年生50名 ※ コロナ禍により計画変更，見直し
3 展開の形式	<p>(1) 行事名「パラリンピックを知り，生き方を学ぶ会」</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間：2時間）</p> <p>② 学年（5年：2時間）</p> <p>③ 内容（パラスポーツ講演会・体験会）</p> <p>(2) 行事名「パラリンピックを学ぼう」</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 学年（5年：2時間）</p> <p>③ 内容1（パラリンピックについて学ぶ）</p> <p>④ 内容2（車椅子試乗・スポーツ体験）</p> <p>(3) 行事名「What do you want to watch?」</p> <p>① 教科名（外国語科：1時間）</p> <p>② 学年（5年：50名）</p> <p>③ 内容（オリ・パラ観戦計画を作る。）</p> <p>(4) その他（道徳）</p>
4 目標 （ねらい）	<p>・パラリンピアンとの交流・触れ合いを通して，生き方・考え方を学び，自分の将来について夢や希望を持つことの意味を知る。</p> <p>・チャレンジ精神(夢や希望・自己肯定感)やフェア・プレイ精神(公正・公平)などのスポーツの価値を理解する。</p> <p>・障害のある方や海外の文化などの多様性に関する理解を深めるきっかけになる(共生社会・インクルーシブ教育，国際理解教育)など，国際社会や地域社会で活動して生き方の生き方を学ぶ。</p>
5 取組内容	<p>(1)「パラリンピックを知り，生き方を学ぶ会」</p> <p>① 講師 二條 実穂氏(2016 リオデジャネイロパラリンピックダブルス4位入賞)</p> <p>② 演題「夢の力」</p> <p>③ 車椅子試乗・テニス体験</p> <p>④ 二條さんに聞いてみよう！</p> <p>(2)「パラリンピックを学ぼう」</p> <p>① 「I'm Possible」を活用した調べ学習</p> <p>② パラリンピックの紹介，クイズ大会</p> <p>③ パラリンピック動画視聴</p>



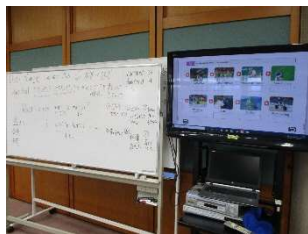


④ 車椅子試乗・スポーツ体験

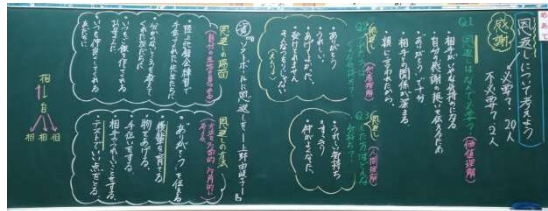









(3) 「What do you want to watch?」

- ① ピクトグラムを使って、競技名を英語で練習する。
- ② 観たい競技を英語で質問したり答えたりする。



(4) 道徳「ソフトボールに恩返しを（上野 由岐子）」



	  <p>④ 車椅子試乗・スポーツ体験</p>   <p>(3) 「What do you want to watch?」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ピクトグラムを使って、競技名を英語で練習する。</li> <li>② 観たい競技を英語で質問したり答えたりする。</li> </ul>   <p>(4) 道徳「ソフトボールに恩返しを（上野 由岐子）」</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○ オリンピック・パラリンピックの意義や歴史について学び、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>○ 学校教育目標「～自他共に大切にし、夢や希望を持った子ども育成」の具現化に向け、パラリンピックに重点を置いて取り組んだ。</p> <p>○ 本事業の取組を、本校の研究「こどもたちが生き生きと「考え、議論する」道徳科の授業の在り方と関連付け、教科横断的な取組に広げることができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○ 新型コロナウイルス感染症対策のため、パラリンピアンによる講演会を前日に中止せざるを得なかった。</p> <p>○ 同様に、感染状況を踏まえて計画の変更を余儀なくされたため、「新しい生活様式」の下での実施を念頭に計画をする必要がある。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○ 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック教育実践校ようい、ドン! スクール」として、オリ・パラを盛り上げる取組を積極的に推進していく。</p>

